



様式第4号（第5条関係）

環境報告書

7年 8月報告

ふりがな	さわんどけんせつかぶしきがいしゃ			認定 ランク	三つ星（☆☆☆）
事業所名	サワンド建設株式会社				
概 要	所 在 地	松本市安曇 4160 番地 2			
	代 表 者 名	代表取締役 川上隆英			
	事業規模 (主な事業内容 ・従業員数)	総合建設業：長野県知事 許可（特-28）第 1193 号 事業内容：土木、とび土工、舗装、石工事業 設立 昭和 38 年 3 月 1 日 資本金 6,000 万 従業員 35 名			
	担 当 者	所属	総務部	氏名	河邊澄子
	連 絡 先	電話	0263-93-2810	FAX	0263-93-2046

○ 環境に配慮した取組みの内容

環境に対する理念・方針	環境方針 豊かな自然 心地よい環境を 子供たちへ そして孫たちへ 基本理念 受注及び利益の確保を根底におき、労働安全衛生の体制を確立し安全で働きやすい職場づくりに取り組むとともに、当社の事業活動から生じる環境負荷の低減に努め地域社会の信頼を得られるよう、全社、環境保護活動を推進します。
環境に関する取組目標	【行動指針】 - 美しく豊かな自然環境のなかで従事していることを意識し、生態系の保護、汚染の予防に積極的に取り組みます。 - 地域社会と連携し、地域の環境保護活動に積極的に参加、協力していくとともに作業所の整理整頓を心がけ心地よい環境の提供に努めます - 産業廃棄物の適正処理、発生抑制、及び再資源化に努めます。 - 化石燃料消費量、及び電力の使用量の抑制に努め、二酸化炭素排出量の削減に努めます - 紙（コピー紙）の消費削減、及びグリーン商品調達の促進に努めます - 環境関連の法規及びその他の要求事項を順守します

具体的な取組内容	・燃料使用機械、保管容器の防油堤設置、燃料流出に備えた備品（吸着マット、AC ライト、ウェス）の常時保管、及び土壌汚染防止のためのシートの使用で土壌汚染の防止に取り組んでいる ・立木伐採、除草は最小限とし、立木利用の際は緩衝材で保護する。 ・工事着工前に希少植物、外来種の調査を実施、必要に応じ移植及び駆除を実施している ・沢渡、白骨、乗鞍地域住民と連携し、花壇整備、除草及び特定外来種駆除等の作業に参加、地域環境活動を実施している ・常に作業所内の整理整頓及び区域外への立入禁止に努め、現場周辺の環境負荷の低減を図る ・建設副産物は可能な限り再利用、及び再生資材の利用促進を図る。またごみの分別の徹底によりリサイクル率の向上に取り組んでいる ・アイドリングストップ、適性運転の徹底及び移動車の相乗り等、また過積載防止の徹底により使用燃料の抑制に散り組んでいる ・「作業所運用管理チェックリスト・1」で運用状況を監視する ・電気、燃料、紙、ゴミの発生抑制、再使用、リサイクル率の向上に向けた取り組みを「本社業務管理チェックリスト」で毎月確認している ・本社事務所の電気・灯油使用量を前年比で監視している ・年 4 回を目安に「エコ通信」を発信、地域住民の環境意識向上を図る ・エコキャップ推進運動に参加している ・事務所新築にあたり、薪ストーブ、温泉熱利用の暖房で灯油の使用を大幅に削減、また太陽光発電の設置で電気の使用量を削減した ・事務所全館をLED照明に代えた
実施結果（成果）	【作業所】 「作業所運用管理チェックリスト」の実施状況例・・・資料① R6年9月～R7年8月 8作業所 平均実施率 4.9（5段階評価） ※98%の実施率となり十分な取組がされている・・・資料② 【総務部】 ・電気使用量 前年比 -3,008 事務所の新築に伴い電気配線が変わったため、正常な比較は来季からとなるが総数量でいくと12%の減となる。全館LED照明及びソーラー設置による効果に期待する・・・資料③ 温泉熱利用の暖房切替で灯油使用量は0 ・廃棄物リサイクル率 R7年8月末 年間リサイクル率 85.35% 前年より若干増加段ボール、廃棄紙はストック後、回収業者ヤマカへ持込 資料④ ・「本社業務管理チェックリスト」 意識として定着していることもあり全て評価基準クリア・・・資料⑤

【社会貢献】

・地区行事への参加

- ・ R6 年 9/9 沢渡地区避難訓練へ参加 企業として提供品の確認
- ・ 12/25 沢渡地区三九郎作りに 6 名参加協力
- ・ R7 年 1/11 白骨地区 三九郎作りに 5 名参加
- 5/15 沢渡地区花壇づくり、林道整備に参加
- 6/18 乗鞍鈴蘭地区ワサビ沢環境整備事業に 5 名参加草刈り
- 7/3 沢渡地区内国道草刈、5 名参加

・環境活動の実施

- R6 年 9/10 白骨スーパー林道 B 線材ハコソウ駆除
- R7 年 4/18 国道 158 号線前川渡～茶嵐 ごみ拾いを実施
- 5/23 大野川小 外来種授業及び教員住宅裏のオハコソウ駆除作業に参加
- 6/4 大野川小中学校グラウンド整備全社員（タンポポ除去他）
大野川保育園 園内危険個所の整地 側溝掃除
- 6/17 宮の原地区オハコソウ外外来種駆除 3 名
- 7/3 沢渡地区外来種駆除（フランス菊、ヒメジオン）
（沢渡地区と合同で実施） 資料⑥ 写真、

・エコ通信の発信

- ・ 第 42 号 R6.11.25 豊かな自然を残していくために
- ・ 第 43 号 R7.1.24 氷河湖決壊洪水と気候変動
- ・ 第 44 号 R7.1.24 ブータン、スノーマンレースと氷河湖
- ・ 第 45 号 R7.8.21. 文化の中での温暖化との付き合い方

参考資料⑦第 45 号

・エコキャップを世界の子供にワクチンを日本委員会（JCV）へ送る

令和 7 年 6 月 6 日 引受先（株）Green

累計個数 77,326 個

累計数量 1050.8 k g

累計ポリオワクチン数 117.5 人分 資料⑧

課題・問題点と その改善に向けた取組み	・ガソリン、軽油使用に対する取組を強化したいが、現場により移動距離が長く毎回異なるため比較することができない。大体年間使用量に大きな相違は見られないが今後も手段としての相乗り、エコ運転、アイドリングストップ等啓発を強化し化石燃料消費減を実施していく ・山間部に位置する土木企業として、自然災害にいち早く対応することが求められる 労働者の高齢化、人員の減少等課題は多いが災害時に適応する重機、機械の保持、整備を強化し対応できる状況を維持していく
その他、 アピールポイント等	・工事着工前に希少植物及び外来種の調査が定着して実施されている。 国立公園内の工事においても指示はないが表土を仮置き、埋め戻しに使う等自然環境に優しい対処が見られる ・エコ通信を通して、私たちの便利な暮らしが生み出す環境汚染、それに伴う気候変動が自然と共生し生きている人々へどのような影響を与えているかまた今後どうなっていくのか一緒に考える機会になることを願いエコ通信を発信している ・地域住民の高齢化に伴い、環境活動に限らず地域行事へ積極的に参加しており、地域企業としての役割を担う。労働力不足への対応に限らず建設業から出来る重機・機械を使用した貢献を実施していく

作業所運用管理チェックリスト-1

資料-1

第 期	作業所名	NO. 0608	水道沢トンネル 作業所	施工管理責任者氏名	熊谷 哲
工 期	R7.3.7~R8.3.11	施工内容	側溝修繕工	作成日	7 年 3 月 6 日

管理責任者	施工部長	作業所長
		

著しい環境側面登録表

業務・プロセス・設備	環境側面	環境影響	通 常	非 通	目 標	運用管理	判断基準	3月	4月	5月	6月	月	月	月	月	月
共通	構造物の破砕、路面の転圧	騒音の発生	○			低公害型の使用	低公害型機械の使用	—	—	—	—					
共通	路面切断等による汚泥の発生	水質汚濁	○			汚泥回収付の機械の使用	汚泥回収付の機械使用	5	5	5	5					
共通	埋設管(水道、電気、温泉)の破損	水道、電力、温泉の停止		○		事前調査、試掘、管理者立会	事前調査、管理者立会実施	—	—	—	—					
共通	創意工夫、地域貢献	評価点	○			現場当りの提出件数	創意工夫の提出	3	4	4	5					
共通	3次元データの作成	評価点	○			3Dスキャナーの使用	創意工夫の提出	5	5	5	5					
共通	原価の管理	利益の確保	○			工期短縮、経費削減	毎月の原価管理表の確認	5	5	5	5					
国立公園内の作業	在来種、希少種の有無の調査・あれば移植する	希少・在来植物の保存	○		○	100%実施	希少植物の調査・移植	—	—	—	—					
国立公園内の作業	外来種の調査、駆除	在来種の保護	○		○	100%実施	外来種調査、駆除実施	—	—	—	—					
国立公園内の作業	工事区域外の立入	生態系に影響	○		○	立ち入り禁止	目視による監視	—	—	—	—					
国立公園内の作業	樹木の存在、立木の利用	生態系に影響	○		○	伐採本数の削減、立木保護	実施の写真等	—	—	—	—					
国立公園内の作業	再生材(砕石、アスファルト)の使用	資源の保存	○			再生材の使用	再生材の使用	—	—	—	—					
国立公園内の作業	間伐材の使用	森林保護	○			間伐材の使用	間伐材の使用	—	—	—	—					
資材の購入	コンクリートの使用	残コンクリートの発生	○			業者持ち帰り	業者持ち帰りの実施	—	—	—	—					
資材の購入	コンクリート二次製品の使用	工期短縮、品質確保	○			使用促進	二次製品の使用	5	5	5	5					
資材の購入	包装の簡素化、持ち帰りの提案	廃棄物の削減	○			提案活動	提案活動の実施	—	—	—	—					
仮設・コンクリート工事	大型どのう、型枠材の転用回数	廃棄物の削減	○			土のう3回以上、型枠5回以上	大型どのう、型枠の転用	5	5	5	5					
伐採作業	伐採木の有効利用	廃棄物の削減	○			薪として販売	薪木(落葉樹)の持帰り	—	—	—	—					
重機作業	重機の燃料使用	排ガスの発生	○			排ガス対策車の確認	低公害型重機の使用	5	5	5	5					
		資源枯渇	○			アイドリングストップ	目視による監視(全車輛)	5	5	5	5					
		燃料、作動油の漏洩		○		流出防止備品の設置	緊急セットの現場内設置	5	5	5	5					
運搬作業	過積載	積荷の落下	○			過積載の監視	監視記録のチェック	5	5	5	5					
仮設信号、掲示板	ソーラー式の使用	CO2の発生抑制	○			使用促進	ソーラー式を使用する	5	5	5	5					
現場への移動	相乗り	車輛燃料の保存	○			相乗り促進	移動車の相乗り実施	5	5	5	5					
現場に燃料保管	燃料の保管	漏洩による土壌、水質汚染		○		防油堤の設置	燃料保管は防油堤を設置	—	—	—	—					
共通	手戻り工事の発生	材料、エネルギーの損失	○			監視・測定	工程内検査の実施	2	2	2	5					
仮設電源	発電機、コンプレッサーの使用	排ガス、騒音の発生	○			低公害型の使用使用	低公害型の使用	5	5	5	5					
協力会社作業員	作業員から廃棄物(弁当容器等)発生	廃棄物の増加	○			持ち帰り提案	目視による監視	5	5	5	5					
協力会社作業員	路上駐車	交通迷惑	○			駐車場所の確保	目視による監視	5	5	5	5					
協力会社作業員	作業服、保護帽の着用	危険防止	○			要求事項の伝達	入所時に確認	5	5	5	5					
地域近隣住民	苦情の発生	作業効率の低下	○			作業開始前、必要時の説明	外部コミュニケーション記録	5	5	5	5					
環境状態	異常気象によるゲリラ豪雨の発生	機械・重機の浸水、埋没、流出		○		気象情報により早めに避難	避難状況の確認	—	—	—	—					
切断作業	排水に流出汚水	汚水が川に流出する	○			排水を川に回収する	排水の回収記録・回収量記録 の記入を促す	5	5	5	5					
								4.7	4.8	4.8	5					

【記入方法】 1. 施工管理責任者は、毎月末に評価対象事項の実施状況を判断基準を参考に判断して、次の評価基準に従い監視結果を記入、実施率を算定する。※国立公園内の重機、機械の洗浄は特別保護地区(上高地、乗鞍位ヶ原山荘から上)とする。

- ・ 100%実施されている

・ 80%以上は実施されている

・ 約半分以上(60%)の実施である

..... 5

..... 4

..... 3

・ 実施率が30%以下である

・ 対策もなく全く実施されていない

..... 2

..... 1
- ・ 実施項目は実施日を記入、該当なしの項目、月は — を記入する。

・ 評価4・5 (実施率80%以上)は充分取組まれていると評価します。

・ 過小評価項目があった場合、原因を分析し、策を講じ実施することで改善に繋がってください。

資料-2

(単位：%)

工事番号	作業所	R6.9月	10月	11月	12月	R7.1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	平均
505	三本滝上	5												5.0
507	中の湯舗装	5	5	5										5.0
508	番所堰堤	4.9	5	4.9	4.9									4.9
509	白骨遊歩道			5										5.0
510	ス-パ - B 舗装	5.0												5.0
601	市道2号線			4.6	4.7	4.6	4.8	4.8						4.7
606	番所舗装										4.8			4.8
608	水道沢							4.7	4.8	4.8	5			4.8
		</												

事務所電気使用量

資料-3

	57期	58期	59期	60期	61期	62期	63期	64期	65期	66期	67期	68期	69期	70期
	従量電灯	従量電灯	従量電灯	従量電灯	従量電灯	従量電灯	従量電灯	従量電灯	従量電灯	従量電灯	従量電灯	従量電灯	従量電灯	従量電灯
9月	1,605	2,004	1,657	1,564	2,525	1078								
10月	1,368	1,810	1,656	1,602	2,495	1237								
11月	1,431	2,043	1,751	1,711	2,492	1790								
12月	1,900	2,073	1,910	1,853	2,696	2297								
1月	2,036	1,912	2,141	1,866	3,023	3316								
2月	2,833	2,525	2,283	2,351	2,834	2958								
3月	2,246	2,295	2,227	1,985	2,655	2974								
4月	1,954	2,155	1,812	2,007	2,238	2021								
5月	2,171	2,200	2,096	2,380	1,246	1292								
6月	1,767	1,810	1,793	2,543	984	969								
7月	1,680	1,530	1,493	1,915	996	1111								
8月	2,050	1,766	1,572	1,902	1,185	1318								
計	23,041	24,123	22,391	23,679	25,369	22,361								

(単位 kWh)

廃棄物再資源化率

第62期

資料-4

[illegible]

本社業務管理チェックリスト

資料-5 ESHM-8-04-01

第 62 期

		重要度	9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月	
			チェック	評点	チェック	評点	チェック	評点	チェック	評点	チェック	評点	チェック	評点	チェック	評点	チェック	評点	チェック	評点	チェック	評点	チェック	評点	チェック	評点
電気使用量削減	昼休みに必要以外の事務所の照明を消している	2	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5
	使用していない部屋の照明は消している	2	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5
	事務所の照明を必要最小限にして使用している	3	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4
	コピー機使用后パワーセーブ機能にしている	2	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5
	退社時にOA機器の電源を切る	2	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4
燃料消費量削減	アイドリングストップを実施している	3	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4
	適正運転を実施している(急発進、急加速を行わない)	2	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4
	社用車を効率よく使用している(移動時の相乗り、営業車の運用の合理化)	2	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4
	暖房時の室内温度を適正な状態にしている	3	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5
	暖房器具への給油時に燃料が漏れないように注意している	2	△	4	△	4	△	4	△	4	△	4	△	4	△	4	△	4	△	4	△	4	△	4	△	4
紙の使用量削減	両面コピー、両面印刷を積極的に行っている	2	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5
	使用済みの用紙の裏面を利用している	3	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5
	会議用資料、その他書類の簡素化に取り組んでいる	2	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4
	電子メール等の利用によりペーパーレス化に取り組んでいる	3	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4
	使用済み封筒の再利用に取り組んでいる	2	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4
廃棄物	両面使用済みの廃棄紙は事務所に廃棄紙回収箱に入れてリサイクルに回す	3	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4
	コピー機、プリンターのトナー及びテプラテープのカートリッジを回収箱に入れリサイクルに回す	2	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4
	本社内のごみ、及び現場の持込ごみの分別を徹底している	3	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5
	新聞紙、チラシ、アルミ缶、段ボールは廃品回収に向け適正に保管している	3	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5
健康管理	毎朝、社員全員の検温を実施している	3	△	4	△	4	△	4	△	4	△	4	△	4	△	4	△	4	△	4	△	4	△	4	△	4
	事務所入り口に消毒スプレーを設置、使用遂行の表示をしている	3	△	4	△	4	△	4	△	4	△	4	△	4	△	4	△	4	△	4	△	4	△	4	△	4
	外来者への対応時はマスクを着用している	3	△	4	△	4	△	4	△	4	△	4	△	4	△	4	△	4	△	4	△	4	△	4	△	4
その他	コピー用紙、トイレットペーパー等の紙類は再生紙を使用している	3	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5
	グリーン商品のリストを作成し、優先的に使用している	3	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5
	事務用品の在庫管理によりコストの削減に取り組んでいる	2	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5

総務担当者は、月ごとに取組状況を目視で確認してチェック欄に記入、下記の評価方法に従って評価点を算出し評点欄に記入する。

重要度	→	3 … 環境保全に重大な効果がある	2 … 環境保全にかなり効果がある	1 … 環境保全に多少効果がある	
チェック	→	○ … 実施されている	△ … 概ね実施されている	× … 取り組みが見られない/取り組みが不十分	－ … 該当しない
評点	=	重要度	+	チェック（取組状況 ○ … 2点 △ … 1点 × … 0点）	

評価基準 …… [重要度 3 の項目は 評点 4以上 重要度 2 の項目は 評点 3以上 重要度 1 の場合は 評点 2以上
(但し、重要度 3 の項目について、チェック(取組状況) × の場合は不適合とする。)



6/9 沢渡防災訓練



6.9.10 スーパ-Ｂ線 白骨 外来種駆除(オオハンゴンソウ)



6.12.25 沢渡三九郎



7.4.18 国道158 ゴミ拾い



7.5.15 沢渡町会環境美化 市道整備



7.5.23 大野川校 外来種講習及び駆除



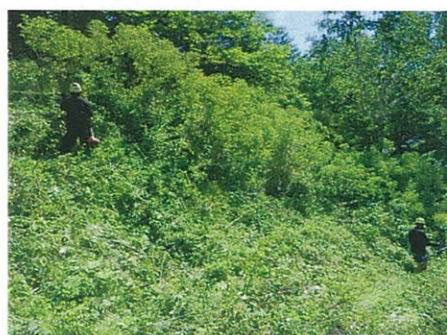
7.6.4 全社ボランティア 大野川小中学校



乗鞍保育園



7.6.17 宮の原地区外来種



7.6.18 鈴蘭ワサビ沢草刈り



7.7.3 沢渡地区 158号線沿い草刈り

サウンド建設 ECO たより

第 45 号

豊かな自然、心地よい環境を 子供たちへ そして孫たちへ

私達、サウンド建設㈱社員は、当社の事業活動により生じる環境への負荷を出来るだけ低減するため、さまざまな環境保全活動に取り組んでいます。この活動の一環として地域の皆様とともにできる活動の紹介、環境に関する情報の提供等を発信することで、環境活動の輪が大きく広がっていくことを願って ”サウンド建設 ECO たより” をお届けします

文化の中での温暖化との付き合い方

気温の上昇を肌で感じるほど、地球温暖化はどんどん進んでいます。干ばつの影響で作物が作れなくなったり、海中温度の上昇で魚が海中で生きていけなくなり、台風や大雨の異常気象にも繋がります。深刻な影響もある中で、日本の美しい景色もまた失われる可能性があります。

例えば、日本人の心をしみじみさせる”紅葉”…
紅葉スポットに行って秋を感じることが
慣例になっている方も多いと思います。

新緑から紅葉の秋まで四季折々の光景
に日本らしい情緒を感じます。
毎年私達を楽しませる紅葉も、将来は
見ることができなくなってしまうかも
しれません。

夏の猛暑に耐えられず、秋になる前
に葉が散ってしまうことや、秋口
の冷え込みがなくなることによって葉が
色づかなくなってしまうのです。
もう、実際目にしていますよね



夏の風物詩も環境負荷の観点から中止!

インドではお祭りでの定番であった、爆竹や花火の使用
が大気汚染への影響から禁止されています。
火は古より人の生活の中にあり、人の心に落ち着きを、時
には高揚感をもたらすものですが、お祭り事の際の花火ま
で禁止されてしまつては、花火好きの日本人の私たちから
見てもインドの方々少し不憫に感じてしまいますね。
しかし、禁止に至った理由は大気汚染。インドでは大気汚染
による健康被害が問題視されており、伝統で行われるお祭り
の大量の花火も原因の一つと言われています。

紅葉も花火も、鑑賞することで季節の美しさと日本らしい
情緒を感じるものですが、環境変動によって失われるのは
やはりつらく感じます。風物詩としてこれらを残していく
ために、生活の中から少しずつ環境に良いことを始めてい
くことが大切です。



ご意見、要望、その他疑問点等
ありましたら 声をかけてください。
対応できる範囲でお答えしたいと
思います。

受付先:環境管理室長 河辺澄子

発行日 令和 7年 8月 21日

発行元

サウンド建設株式会社

TEL 93-2810 FAX 93-2046

資料-8

PETボトルキャップで世界の子供を救おう

受領書

サワンド建設株式会社 御中

令和7年 6月 06日

ご担当者: 河辺 様

ご住所: 松本市安曇野4160-2

FAX: 0263-93-2046

この度はPETボトルキャップで世界の子供を救おう
活動にご協力いただき誠にありがとうございます。



Grean

(株) Grean

本社

〒399-4431 長野県伊那市西春近5806

TEL 0265-73-9533 FAX 0265-73-9577

箕輪工場

〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町

中箕輪14017-41

TEL 0265-71-3588 FAX 0265-71-3577

令和 7 年 6 月 06日 下記の通り受領いたしました。

数量(kg)	個数	CO2削減効果	ポリオワクチン数	備考
7.0 kg	2,800個	22kg	3.5人分	(全量) 77.3264
累計 数量(kg)	累計 個数	累計 CO2削減効果	累計 ポリオワクチン数	117.5人
153.0 kg	61,200個	482kg	76.5人分	CO2 1050.8kg

ご提供ありがとうございます。

※1kgを400個として計算しています。 ※ポリオワクチン1人分=2kg(800個)となります。
※1kg(400個)が焼却されると3.15kgのCO2が発生します。

受領いたしましたPETボトルキャップは弊社にて粉砕処理後、再資源として売却し、
売却益を認定法人NPO法人 世界の子どもにワクチンを日本委員会(以下、JCV)へ
寄付させていただきます。

JCVへは、毎月集計し寄付させていただきます。

JCVからの領収書が届き次第、弊社ホームページ(<http://gensan.grean.jp>)で

報告させていただきますのでご確認ください。